



## 会長あいさつ



曾於市農業委員会 会長 山口 裕之

農業委員会だより第17号の発行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

市民の皆様には、かねてより農業委員会の業務に関しまして、格段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、一昨年から流行している新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、「新しい生活様式」などが求められました。マスクの着用、消毒の徹底、移動の自粛、3密の回避等といった基本的な感染防止により、農業委員会活動においても、日常の活動がしづらい年になりました。

現在、曾於市では、人・農地プランの実質化を推進しております。これは、担い手への農地集積・集約化についての話し合いをし、5年後、10年後の地域の農地や耕作する人に関する課題について、しっかりと話し合う取り組みです。また、農地の「貸したい」「借りたい」総点検（1・5・一・絵）として農地の所有者にアンケート調査も行っているところです。これにより農地を貸す人と借りる人のマッチングに繋げていく考えです。

農業委員会は、そのような中、昨年10月4日に、本誌3ページに掲載してありますとおり、市長に対し、大きく7点ほど、政策提言を行ったところであります。その中で、最近特に問題になっている鳥獣被害については、毎年お願いしているところです。また、農地を農地以外で利用されている状況（無断転用）が散見され、国からの指導の下に、これから改善に向けて取り組んでいく予定です。無断転用がある場合は、新たに農地取得が出来なくなる場合がありますので注意して頂きたいと思います。農地を農地以外に利用する場合は、必ず農業委員会の許可を得る必要がありますのでご相談頂きたいと思います。

今後も、曾於市民のための基幹産業であります農業を守り育てるため、農地として残さなければならない「優良農地」と「山林等に返っても仕方のない農地」に区分しながら、優良農地の確保と有効利用、担い手農家への優良農地の集積・集約化、優良農地内の耕作放棄地の発生防止及び解消等、また、各種申請に対し、公平迅速に対応できるように取り組んでまいります。特に優良農地の有効利用につきましては、委員・職員一丸となって、積極的な活動を推進してまいりますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。